



形成外科と美容外科



《耳や鼻の変形とは？》

耳は先天性の変形が比較的多い部位で、小さい耳(小耳症)や立ちすぎた耳(立ち耳)、尖った耳(スताल耳)などほとんどの変形が保険治療の対象となっています。小児の場合は5～6歳までに手術を行うことが多いので全身麻酔での手術となりますが、成人ではほとんどすべての手術が局所麻酔で可能ですので入院の必要もありません。

後天性の変形としては多くのものが外傷により起こります。最近はピアスをしている方も多く、若い女性ではしている方が圧倒的に多そうですが、ピアスによるトラブルも少なくありません。ピアスを入れた直後にはピアス孔の感染やピアスが耳たぶの中に埋もれてしまうなど、しばらくしてからは入れているピアスがどこかに引っかかって耳たぶが切れたりピアス孔が赤く盛り上がるケロイドなどがあります。ピアスは信頼できる施設に入れてもらうことが重要で、入れた直後のトラブルはそうした施設で適切な対応をしてもらえはしますが、そうでない場合にはご相談ください。

鼻の変形ですと、ただ単に鼻を高くしたい場合は当然保険は適応されませんが、事故などで低くなってしまった鼻(鞍鼻)や先天性・後天性に曲がった鼻(斜鼻)などは保険が適応されます。治療は骨を切ったりする必要があるため、耳とは違い全身麻酔が必要となる場合もあります。

また耳や鼻は複雑な立体構造をしており皮膚の余裕も少ないため、外傷や腫瘍の切除などによって変形を生じやすい部位でもあります。これらは言うまでもなく保険治療となります。

・・・後編へ続く

★よろず相談プラザについて★

当院外来棟1階によろず相談プラザがありますが、ご存知でしょうか？時々「よろず相談プラザって書いてあるけど、どんな事を相談できるの？」とお尋ねに来られます。今回は、そのよろず相談プラザがどんなところかをご紹介します。

総合相談窓口として

「よろず」とは漢字で表記すると「万」と書きます。それは「あらゆるもの」という意味になります。その意味の通り、あらゆるご相談をお受けいたします。例えば、受診・転院・介護・在宅療養のご相談、治療費について、制度利用についてなど様々です。ただ、すべてのご相談がよろず相談プラザで解決できるわけではございませんので、院内のスタッフや院外の方々(地域の医療機関や行政など)と連携しながら対応致しております。また特に、入院患者さまの退院時のご相談(在宅療養・転院についてなど)を専門の看護師や医療ソーシャルワーカーが対応しております。

がん相談支援センターとして

当院は平成19年1月に厚生労働省より「地域がん診療連携拠点病院」として指定されました。その取り組みのひとつに「がん相談支援センター」の機能があります。がんに関して悩まれている患者さま及びそのご家族や地域の皆様からがんに関するあらゆる相談をお受けしています。

地域連携の役割

地域の医療機関さまを対象(申し訳ございませんが患者さまご本人やご家族等からの外来予約等はお受けできません)として、当院への外来予約や、受診などの相談窓口をよろず相談プラザ内の地域医療室が担当させていただいております。

何か、ご相談がございましたら、ご遠慮なく、よろず相談プラザまでお越しください。